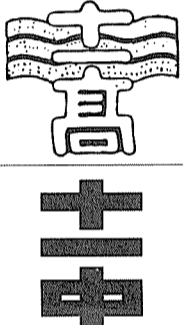




発行者 都立江北高等学校同窓会
江北会
事務局 090-8011-9131
メール kohoku-kai@docomo.ne.jp



進学指導推進校に指定

平成22年3月卒業生の進路

卒業生 総数	進 学				就 職			未定 浪人等
	大 学	短 大	期 学	専 門 学 校	公 務 員	民 間	そ の 他	
男	144	82	0	17	8	4	0	33
女	136	64	3	46	2	11	0	14
計	280	146	3	63	10	7	0	47

平成23年3月卒業生の進路

卒業生 総数	進 学				就 職			未定 浪人等
	大 学	短 大	期 学	専 門 学 校	公 務 員	民 間	そ の 他	
計	277	306	12	45	7		5	

◆主な大学合格数(カッコ内は浪人=内数)
千葉1 早稲田11(7) 上智1 明治7 青山学院5(2) 立教8 法政11 学習院2
日本23 東洋26 駒沢10 独協10 大東文化7 東海5 東京電機8(1)

躍進江北 早慶・上智にも合格者

江北高校は22年度、「進学指導推進校(高い将来に向かつて自ら進路選択ができ、意欲的に勉学に取り組む生徒の進路希望をかなえることのできる学校)」に、都教委から指定されました。「学力向上への取り組み」と「授業規律の良さ」が評価されたようです。具体的には、朝学習・補習・週末課題などや生徒参加型の授業が増加しました。土曜授業、さらに土曜日に自学自習をする「江北塾」を年間十八回行いました。大学生の学習アシスタントをつけましたが、その交通費は、同窓会にご支援を賜り感謝いたします。同様にご支援いただいている「駿台サテネット」も受講者が百人を超えました。23年度は「文武両道」の目標のもと、部活加入率は九三%と高く、活発に活動しています。22年度は、軟式野球部が東京大会で準優勝、他の部も都大会出場など実績を上げています。地域から期待される学校として一層躍進するよう教職員が一丸となって頑張ります。(副校長・小林 晶代)

前校長 磯部 直樹



学力向上へ様々な取り組み

平成22年5月、本校は東京都教育委員会から「進学指導推進校」に指定されました。その背景には、足立区を中心とした地域に都立の上位進学校をつくる、という都の方針があります。本校はかつて上位進学校として地域の信頼を

得ていました。しかしながら現在は中堅校として位置づけられています。生徒は素直で明るく、部活動と勉学にまじめに取り組んでいます。ただ勉学において「鍛えられる」という経験に乏しく、学力を十分伸ばしてきていません。学校としてその点に焦点を当て、土曜授業の導入や週末課題、講習・江北塾など様々な取り組みを行ってきました。「進学指導推進校」の指定は、このよう

な取り組みが評価されたものと受け止めています。この指定によって、教員の公募、日比谷高校等の進学校への参加、外部指導員への謝礼等新たな予算措置が可能になりました。

23年の卒業生からは早大・上智大の合格者が出ました。次年度以降も「進学指導推進校」としての明確な結果を出せるよう学校が一丸となって取り組んでいく所存です。

新校長 牧内 利之



卒業生の「思い」生かしたい

四月一日付で着任いたしました。牧内と申します。本校は昭和13年、東京府立第十一中学校として開校し、七十有余年の歴史を刻む伝統を深めていきたいと思っております。その結果、入会者の減少傾向に歯止めがかかることを心から願っています。会員諸氏の更なるご協力をよろしくお願い申し上げます。

江北会報の「たんぼぼ」欄担当は奥田彰さん(6回生)から小沢昭司さん(3回生)に引き継がれ、タイトルが「のちのあおい」に変わります。

平成22年度版江北会報を7月に発刊しました。未入会者についても氏名のみを掲載しましたが、このような状況が次号発刊までに解消されることを願っています。

学校や父母と連携強めたい



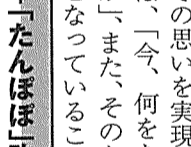
坂元 思無邪 (15回生)

◆事務局長 根岸 幹男(43回生) 現在副会長兼事務局長
現在実施している母校への支援は今後も続ける予定です。同窓会基金(終身会費)で江北会紹介ブースを設けて

ため見送り、教職員等の意見を踏まえながら実施内容を検討していくことにします。

昨年9月18、19日の江北祭にPTAの協力のもとに初めて江北会紹介ブースを設けて

江北会入会状況は、会報で度々報告していますが、卒業生全員の入会には至っていません。昨年7月に三年生保護者会で、11月には学校側の配慮をいただき、三年生のクラスごとに江北会の活動等について説明しました。今後も許される範囲内で学校、PTA関連行事などに参加して連携



「たんぼぼ」改題「のちのあおい」 筆者の言葉



奥田さんの後、会報に書くように「のちのあおい」といわれる、老若(ろうじょう)もあつたが、後(ご)まじり(まじり)めた兼好(かねよ)に力を得て本欄を担(た)当(た)することにしました。よろしく。

のちのあおい

千住生まれ、千住育ちの私は昭和15年(1940)に府立十一中に入學した。五反野の駅から田んぼに挟まれた細い道を七百ほど毎日歩いて登校した。校舎はまだ一棟しかなく、授業は8時過ぎから二年、一年、三年と三部に分けて行われた。担任は石垣先生という若い英語の先生だった。Mr.と英語をホワットと発音した。これはアメリカ式の発音だと教えてくれた。もう一人の英語の盛岡先生はウオットと発音した。これはイギリス式だと教わった。このホワットの石垣先生が入学後間もない頃、私ともう一人の級友(山内君)を後楽園球場につれていってくれた。ユニホームの胸には漢字で巨人軍と書かれていた。試合開始の前に君が代を観客全員が起立して歌った。巨人軍がこの日戦った相手はどの球団だったか覚えていない。観客は内野も外野も半分ぐらいの入りだった。試合は巨人軍が快勝した。四番を打っていた川上哲治が三本ヒットを打った。試合の終盤近く「帰ろうか」と先生がつぶやいた。待てよ、もう一度川上に打席がまわってくるから、それを見て帰ろう」と言った。ここまでで後楽園球場の記憶はぶつんと切れてしまった。後には何もない。替わりに強烈な思い出が襲ってくる。それは三年後のことだ。生徒出陣式が神宮外苑の競技場で施行された。江北中学の学校行事として、級友たちと一緒にスタンドから見送った。角帽をかぶり銃を肩にした幾百幾千もの生徒の行進を、複雑な思いを抱いて凝視した。

平成22年6月26日に開催された江北会総会で、引き続き、会長として承認された15回生の坂元です。役員は江北会の入会状況など懸案事項への対応の継続性を勘案し、次の諸氏に留任をお願いしました。

◆相談役 小沢 昭司(3回生) 茨城 洋一(8回生) 木村 昭光(10回生)

◆副会長 総務 江澤 和男(33回生) 会計 新鞍 均(34回生) 広報 新井 幸吉(20回生)

◆会計監査 白石 正輝(17回生) 滝沢マサ子(21回生)

週末は山梨で自然と親しむ

国語 清水 和夫先生 (23回生)
昭和62年～平成11年

長年「江北会報」を担当してきた奥田彰先生が平成3年に退職されたのを機に「会報」の編集を引き継ぎ、以後二十年近く編集に携わって参りました。が、この度第一線を退くことになりました。



長年「江北会報」をお読みいただいた皆様に感謝申し上げます。とともに、近年の紙面のマンネリ化等至らぬことが多々ありましたことをおわび申し上げます。

平成20年3月に都立墨田川高等学校を定年退職し、現在立ち寄り下さい。

元気です

恩師の近況



女子高勤務のころの小島先生 (中央)

昨年3月に私立女子高を退職し、五十一年間の教師生活にピリオドを打ちました。その後、何らかの形で社会とのつながりを持ちたいと思いが、不首尾に終わりました。現在は、月一、二回のゴルフ、週五回ほどのサイクリング、数か月に一度の初孫との

ゴルフ・サイクリング・読書

英語 小島 義朗先生 昭和42年～50年

対面等で外出の多い生活です。家では行き当たりばったりの読書をしております。2008年の秋には江北高校の創立七十周年事業や卒業生の同期会等で、旧知の方々の懐かしい出会いがありました。江北高校の伝統の底力を実感することができました。

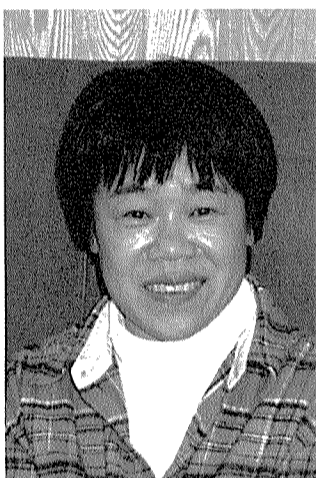
懐かしい江北 2度目の勤務



社会 伊藤 静雄先生 平成3年～15年

お元気ですか、一昨年、非常勤勤務ということで江北高校に戻り、二年間勤務しました。懐かしい思い出が溢れます。

世界の仲間と囲碁を楽しむ



英語 大橋 洋子先生 昭和46年～51年

囲碁は五十歳頃始めました。年に一回アメリカの囲碁大会に参加し、ヨーロッパ、カナダなど海外の囲碁仲間と対局するのを楽しみにしています。ネットでの対局も楽しんでいます。なかなか進歩しませんが、だからこそ夢中にハマっています。最近では、ハワイアンフラとクラシックバレエにもハマっています。

介護の日々にも少しゆとり

数学 藤松由紀子先生 平成3年～12年

江北高校から南葛飾高校を経て、城東高校で定年退職し、再び江北高校で非常勤教員として勤務させていただき、大変にお世話になりました。



友人と一緒に。左が藤松先生

授業では生徒の学力向上に努め、大学受験を目指す生徒にも十分対応できるように一時間一時間を大切にまいりました。部活動では筆曲顧問として、日本の伝統文化の魅力を生徒に伝えられるよう指導してまいりました。家庭の事情でやむなく年度途中で辞職させていただきました。何が何よりも心残りです。

江北去り13年 今も交流続く



英語 田代 靖子先生 昭和61年～平成10年

趣味で始めた朗読のおかげで、地域でのボランティア活動や新しい人間関係ができて、忙しい毎日でも過ごしています。合間には、孫二人(中二女、小五男)の祖母業や、江北時代に始めたフリーセル(OKケースションの会に参加したりするなど、心温まる交流が続きました。どなたか挑戦しませんか?)などに興じています。

社会 渡辺 和子先生 昭和63年～平成13年



ホームステイのネパールの若者と

地域とともに 国際交流活動

三年前に59歳で退職し、自らの生活を送っています。江北高校在職中は、私の教員生活の中で最も印象深い時代でした。着任二年目、担任を持ったのに大股骨骨折で、我孫子へ引き、市民との交流や文化遺産などを学ぶお手伝いをしていました。生活が変化しましたが、新たな刺激を感じております。

教職員異動

- 23年度(退職) 校長 磯部直樹(教諭) 佐藤和延(政治経済) 川口泰之(国語) 三田大島寛子(世界史) 白鷗(転入) 教諭 八丈村岡 櫻井友之(数学) 八丈村岡千賀子(家庭) 忍岡 櫻井朋子(英語) 三鷹 養護教諭 永島厚子 葛飾商 経営企画室長 原とき枝 小山台 事務 高橋明(経営企画室) 六本木 加藤毅(同) 東部支援センター 非常勤教員 伊藤金作(物理) 新宿 伊藤静雄(世界史) 荒川商(転入) 校長 牧内利之 小金井工 主幹 並河正(世界史) 白鷗 教諭 尾山邦子(国語) 江戸川 猪野陽太郎(政治経済) 蔵前工 尾花薫(数学) 忍岡 中山利徳(英語) 上野 宮島陽子(家庭) 新採用 長谷川朋美(美術) 育休代替 中山翼(英語) 青木代替 養護教諭 加瀬あづみ 竹台 経営企画室長 萩原京子 東部支援センター 事務 木村亮介(経営企画室) 新採用 非常勤教員 根本信義(国語)
- 22年度(退職) 教諭 上野正昭(国語) 藤生 康雄(国語) 嘱託員 竹内睦子(司書) 転出 主幹 西村俊徳(英語) 竹台 教諭 小豆畑和之(社会) 西 諸隈信輔(数学) 足立西 坂巻敏章(物理) 科学技術 野田 徹(化学) 城東 船田等(英語) 高島 柴崎稔(英語) 練馬工 林美智香(英語) 田柄 経理担当係長 今井光雄(経営企画室) 南花畑特別支援学校(転入) 主幹 田辺謙一(国語) 篠崎 教諭 三繩亮(国語) 小岩 原淳弥(社会) 広尾 大原健司(社会) 新採用 中山昌之(数学) 戸山 佐藤康則(物理) 神代 小野寿久(化学) 高島 阿部修平(体育) 本所 吉田純子(英語) 足立西 小林紀代子(英語) 足立西 白石正浩(英語) 北豊 高島 伊勢達也(英語) 新採用 前澤博(化学) 赤羽商 事務 齋藤晴美(経営企画室) 南葛 師 平野雄一(経営企画室) 教育庁

九段会館での懇親会に出席のみなさん



中アへ一泊旅行 江北山岳会

府立十一中と都立江北高校の山岳部卒業生からなる江北山岳会は昭和30年、現役と卒業生の橋渡しという意味付けで結成した親睦会です。活動が停滞した時期もありましたが、平成16年に新・江北山岳会がスタートし、23年4月から、活動が8年目に入ります。現在会員数は正会員九十九人、元顧問の先生が十五人です。

平成22年度の活動実績
 4月17日総会・懇親会。6月19日高尾山ハイイク。9月25日、26日中央アルプスへ一泊旅行。23年1月15日新年会。その他、ブログ開設、年に一回会報「江北山岳会より」発行。(鈴木 勝利 33回生)

傘寿を迎え最終回

会員41人が名残惜しむ

六江会



六回生の会「六江会」は、会員たちが傘寿を迎え、平成22年6月9日、湯島の東京ガーデンパレスで、最終回の同期会を開催しました。

毎年続けてきたこの会も二十七回目。南は鹿児島、北は札幌から会員四十一人、付き添い三人が出席しました。物故者七十七名に黙禱(もく) (保浦 英雄)

とう)を捧げ、にぎにぎしく和気あいあいと進行、名残惜しみ、旧交を温めました。会を続けたことの希望者も多いので、23年からは毎月6日13時、ガーデンパレスに来られる方が集まって、昼食をとりながら雑談などをすることに決まりました。



24人、楽しいひととき

10回生女子の会 十花会

10回生女子の会「十花会」の集いが昨年11月29日、新宿中村屋で開かれ、24人が集まりました。毎年会う人、久しぶりの人、それぞれの人生を歩んで来た76歳です。おしゃべりに花を咲かせ、友利昭子さんの腹話術の余興もあって、楽しいひとときでした。(藤田 武子)



東京都立江北高等学校20回生 同期会
 1963年(昭和38年)3月卒業

26年ぶり同期会 20回生

「高校三年生」がはやった年6月12日、綾瀬駅前集合。昭和38年に卒業した面々が昨(こ)年(ねん)に集まりました。総勢五十五人。二十回生が入学した昭和35年は安保闘争、翌36年春、木造校舎が二度にわたり焼失し、プレハブ校舎生活に。37年5月には常磐線三河島駅で衝突事故。こう書くと、騒然とした高(たか)校生活のようすが、それぞれに青春を謳歌(おうか)していたように思えます。

二十六年ぶりの同期会でしたが、クラス垣根を超え、思い出話を花を咲かせました。幹事役の新井幸吉君の尽力に感謝です。次回はもっと多くの参加者をと願うばかりです。(青山 信昭)

現役の競技成績上げよう 総会で支援を約束

陸上部OB会

22年度陸上部OB会総会は、7月3日に綾瀬のマリアージュで開催しました。今回は参加者十八人でしたが、久しぶりにご参加の元顧問、坂本元五郎先生や新顧問の阿部修平先生をお迎えして、少



人数ならではのアットホームな会になりました。

近年、現役の競技成績が芳しくないが、阿部先生が「強い江北陸上部」を合言葉に競技成績を上げていくことを宣言し、OB会にも応援を要請されたので、引き続き支援していこうと全会一致でまとまりました。会の終盤は恒例となったCHIEKO LIVEREを楽しみました。

来年はOB会発足六十周年の節目の年となります。盛大な記念式典を鋭意企画中です。提案などがありましたら、ご連絡下さい。

連絡先 根岸幹雄 43回生
 携帯 090-4240-0801
 メール mhko@mx6.ttcn.ne.jp

散 歩 会 浅草寺で絵馬を鑑賞

5月29日(日)午前10時
 浅草観音堂五重の塔前 集合

散歩の会は昨年までの数年間、大都会に残されている自然を求めて実施されてきました。しかし、雨天になることが多く、参加者の減少が続きました。

そこで今年は趣向を替えて浅草寺五重塔から伝法院に通じる地下道を巡り、絵馬を鑑賞することにしました。雨天でも傘要らずの散歩です。絵馬は小さいものから、量一枚を超えるものまであり、国宝級、重文級が並んでいます。

この回廊は一般には開放されておらず、江北会員で寺に僧侶として務めている大森和潮氏(26回生)のご好意によるものです。地下道を抜ける(ゆうすい)な雰囲気醸し出す伝法院の庭園を見ることができま(す)。この機会にお見逃しな(き)よう、現任教職員を含む江北会員はもちろん、現旧PTA会員、その知人友人のご参加をお待ちしております。

一巡後、昼食を浅草寺周辺で取り、時間が許すなら、高さ六三四メートルの東京スカイツリー、あるいはい(ち)こ(ん)まりとした都会のオアシス向島百花園に足を向けたら(い)かがでしょう。

今回は例年と異なり、五月五日曜日に開催しますのでお間違いない。雨天決行。事前の申し込みは不要、現地集合です。



昨年実施した林試の森の散歩に参加のみなさん

お悔やみ申し上げます

太田 晶也先生(数学)
 昭和41年4月〜平成3年3月
 昭和41年4月〜平成3年3月
 昭和41年12日逝去。77歳。
 23年1月24日逝去。80歳。

奥田 彰先生(化学)6回生
 昭和39年4月〜平成3年3月
 23年1月24日逝去。80歳。

奥田先生を偲ぶ会

奥田彰先生を偲(しの)ぶ会を、6月25日(土)午後2時から4時まで、綾瀬の「江戸一万里館」(33-5882-8888)で開催します。会費制。参加希望者は会場の関係で、事前申し込みが必要です。なるべくメールでお申し込み下さい(事務局電話も可)。詳細を後日改めてご案内いたします。

Kohoku-kai@docomone.jp
 専用電話 090-8011-9131

6月25日に綾瀬で

